

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



1月の銅の概況及び2月の見通し (1)

予想レンジ		
LMEセツル	7,000-8,000ドル	●
建値	760-880円	☂
為替	103~105円	☂
円高 (1か月間TTM)		

■国際概況

前半は世界的な新型コロナ感染拡大に加え、変異種の感染増加に対する警戒感もあり、英国で行動規制が強化されたことなどのマイナス材料もあったが世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が拡大するとの期待感や、中国の財新2020年12月の製造業購買担当者景気指数(53)を受けて同国の景気回復継続が示されたことを好感し上昇。

1月15日時点で8002.5ドル(セツル)と月初価格より84ドルUPの前半締めとなった。

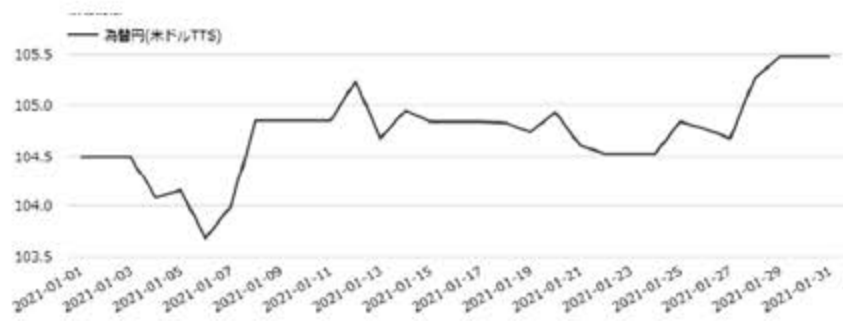
後半は米バイデン次期大統領が1.9兆ドル規模の追加経済対策を発表したことなどのプラス材料もあったが、中国での新型コロナ感染再拡大による需要不安などを嫌気しDOWN。

1月28日現在、後半スタート価格から84.5ドルDOWNの7,895ドル。

2月スタート建値は86万円。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)
104.08→104.68(円)



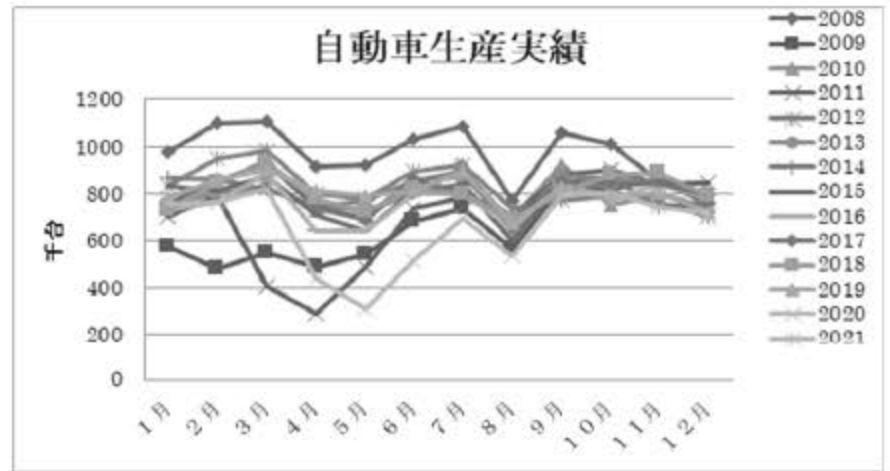
出典 MIRU

【国内指標】

◆自動車生産台数

生産動態統計によると12月の自動車生産台数は前年比+4.1%の71万8,173台。輸出は-7.7%。

	10月	11月	12月
生産台数	80万5153台	74万8026台	71万8173台
前年比	+8.6%	-2.5%	+4.1%

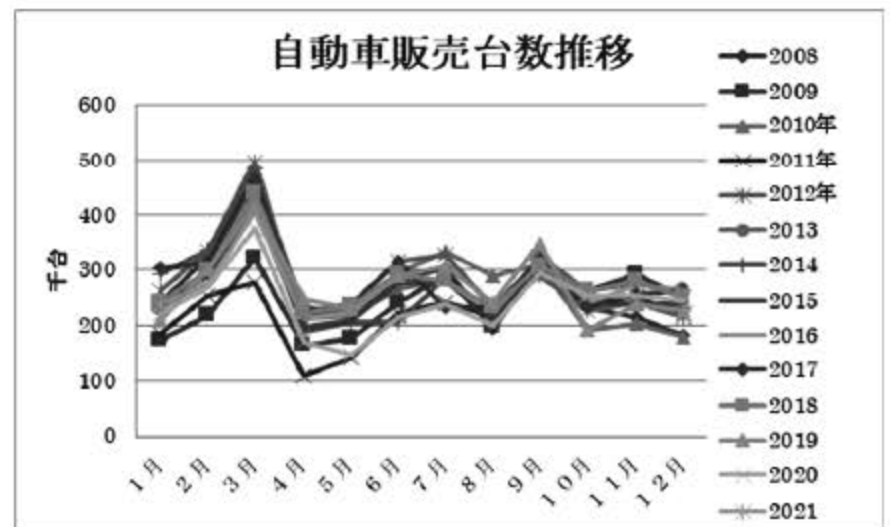


出典 生産動態統計

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+6.8%の23万6,592台。

	11月	12月	1月
販売台数	25万3089台	24万3753台	23万6592台
前年比	+6%	+7.4%	+6.8%



出典 日本自動車販売協会連合会

【住宅着工戸数】

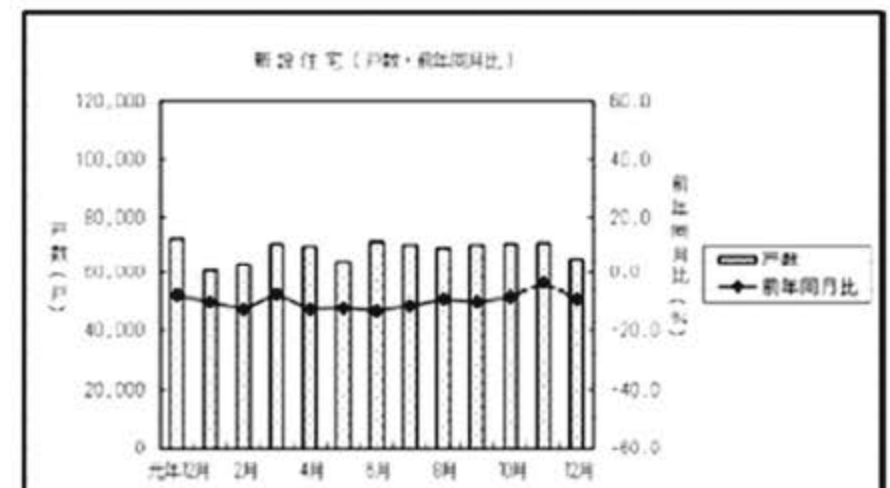
12月の新設住宅着工は、持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比9.0%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.2%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は65,643戸。前年同月比9.0%減、18か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は5,385千㎡。前年同月比7.9%減、17か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では784千戸。前月比4.2%減、3か月ぶりの減少。

	10月	11月	12月
新設住宅着工戸数	7万685戸	7万798戸	6万5643戸
前年比	-8.3%	-3.7%	-9%



(次号へつづく)